

第16回 ちゅうでん教育振興助成（平成28年度）

報告書資料 一般-47

学校名・団体名	静岡市立松野小学校
HPアドレス	http://www.matuno-e.shizuoka.ednet.jp/
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	松野ふるさと郷育でちびっこ観光大使が おもてなし
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <ul style="list-style-type: none">・ 学校の特色(自慢)であるビオトープと学校林を、地域で開催される桜祭りで広くPRする活動を行うことで、学校や地域の良さを再認識するとともに、愛校心や郷土愛を育む。 また、ガイドマップ作製や環境整備をするために、多様な探求活動や体験的活動をすることが、思考力や表現力を高めていくことにつながる。	

- 1 対象者 全学年 (42名)
2 教科 総合的な学習の時間・生活科・理科
3 ねらい ・地域の自然環境や学校林やビオトープの特性を調べ、その良さを地域の桜祭りで伝えることで、ふるさと松野に誇りを抱き、思考力・表現力を高めていく。

4 活動の特色

- ・学校の特色(自慢)であるビオトープと学校林を、地域で開催される桜祭りで広くPRする活動を行うことで、学校や地域の良さを再認識するとともに、愛校心や郷土愛を育む。また、ガイドマップ作製や環境整備をするために、多様な探求活動や体験的活動をすることが、思考力や表現力を高めていくことにつながる。

5 各学年での取り組み(活動時期および内容)

(1) 全学年

平成28年5,6月 【桜祭りへの参加PRプロジェクト計画の作成】

- ・学校に隣接した油山地区で行われる桜祭りの会場を、学校のビオトープ及び学校林まで拡大し望ましい形にする計画を立てた。(・地域自治会桜祭り実行委員会との話し合い ・ビオトープ、学校林設計図 ・各学年の取り組み計画作成)

平成28年7月24日 【ビオトープ・学校林の環境整備作業】

- ・PTAの協力を得て、林道の整備・ビオトープの栈橋架け替え・清掃作業を行った。

平成29年4月11日 【桜祭りへの参加・リーフレット配布 予定】

(2) 1, 2年生

平成28年7月~平成28年11月 【生活科での動植物調べ】

- ・ビオトープ・学校林に生息する動植物を観察し、図鑑や資料と比べながら生態や特徴について調べた。

平成29年2月,3月

- ・調べ学習・探求学習で得たビオトープや学校林の特色を、3,4年生と協力して「ガイドマップ・リーフレット」に仕立てた。

(3) 3, 4年生

平成28年6月~平成29年1月 【学校林体験学習・樹木ネームプレート作り】

① 6月17日(金)、6月23日(木)

- ・樹木の見分け方(枝分かれ・葉の形)や自然観察の三原則について、講師に樹木医をお迎えし学習した。また、森林は成長し生き続けていて、人間の生活に欠かせないことなど森林の大切さについても学んだ。

③ 9月23日(金)

- ・林業家を講師に招き、森林の役割・間伐の大切さ・林業について実演を見せていただきながら学習した。

④ 1月31日(火),2月9日(木)

- ・間伐体験を行い、実際に間伐した木材を板状に加工し、学校林とビオトープ内に生育している樹木のネームプレート作りを行った。

⑤ 3月3日(金)

- ・自分で作製した樹木ネームプレートをそれぞれの樹木に設置した。

(4) 5年生

平成29年1月~4月【環境整理】;5年生はビオトープに隣接した学校田で米作りを行った。8,9kgの米を収穫。

① 桜祭りの会場となるために、ベンチや案内板を作製し設置した。(ビオトープ清掃活動実施)

② 会場となるビオトープ・学校林を含めた校内の自然環境の各エリアに、親しみやすい名前を付けた。

全体を「松野郷育(きょういく)の森」と名付け、大きな看板を作製し設置した。さらに4つのエリアも命名した。

- ・わくわくの森(学校林)、どきどきの池(ビオトープ)、いきいきの畑(学校畑)、すくすくの田(学校田)

③ 1,2年生が作成した「ガイドマップ」の拡大掲示版を作成した。桜祭り当日は、会場に展示する。

(5) 6年生

平成28年7月~11月【学区の自慢探し「プロフェッショナル松野」】

- ・松野学区で生産されている自慢の「お茶」と「イチゴ」について、調べ学習・探究学習を進め、「地域公開参観日の松野っ子デー」で学区の自慢や特色を発表した。

平成28年10月~平成29年4月【松野自慢を基にした、「桜祭りのキャラクター」作りと公開】

- ・桜祭りのゆるキャラ、「お茶仙人・恋ちご・さくらまつりん」の3体を発案し、全校児童保護者や地域の方に公開し、人気投票を行った。また、学校ホームページや静岡市のホームページで公表した。
- ・3体の絵(フェルト生地で作成)を、桜祭り当日は、ビオトープに展示予定である。

6 成果

- ① **アクティブラーニングによる主体的な学び;** 桜祭りで学区地域の特色と学校の自慢のビオトープ・学校林の紹介のPR活動をするという目的意識を持って能動的に活動することによって、主体的に学ぶ力が身に付いてきた。
- ② **コミュニケーション能力の育成;** 活動の様々な場面で、友達や仲間だけでなく地域の方・講師の方など多くの人と必然的に関わることで相手を意識した表現力が身に付き、コミュニケーション能力が高まった。
- ③ **思考力・想像力・表現力の育成;** ビオトープや学校林の何をどのように探求し、どのように表現して伝えるかに取り組むことで、思考力や想像力が身に付いた。特にガイドマップ作りでは、相手を意識して工夫する表現力が付いた。
- ④ **愛校心・郷土愛の醸成;** 仲間と協力したり役割分担をしたりすることで、所属感や仲間意識が高まった。また、学校の自慢であるビオトープ・学校林の特色を、地域に広く知らせ桜祭りに主体的に関わることで、学校や地域の良さを再確認することができた。子供たち自身にとっても、ビオトープや学校林は絶好の学習の場所でもあり、憩いの場所でもある地域の自慢を自覚することで郷土愛を育んでいる。
- ⑤ **コミュニティスクールの確立;** 本校においては、すでに学校応援団、放課後子ども教室、下校ボランティアなど地域の方々の力を学校運営に導入しているが、より一層地域と学校のコミュニティスクールが具体的な形になった。